



「周逸グランプリ2026」の開催について

資料6

募集テーマ



	テーマ	目的・将来像	ターゲット	販売先	商品イメージ
1	ごはんのおとも	- 幅広い生産者（野菜、海産物、畜産物関係等）に関わってもらいたい。 - 周南の家庭に必ず1つはある、量販店で手に入るというような”身近な周南の逸品”を作りたい。 - 市内飲食店とのコラボや、詰め合わせギフト化などへの展開。 - 周南市産の米の消費量を増やしたい。	- 各家庭 - 旅行者の手土産として（将来的）	- 量販店 - 道の駅 - 徳山駅 - サービスエリア	佃煮、ふりかけ、肉味噌、漬物等（開封し、調理を伴わず、そのまま食べられるもの） 
2	贈答品 （菓子類）	「気軽に購入できるお土産」と「丁寧に渡したい贈答品」の両方ができることで、用途に応じて選べるバリエーションの確保。 - 市内企業や行政のイベント等の賞品、景品として利用。 - 企業の出張者などが取引先やお客様に渡す手土産としての定番商品に。 - ふるさと納税返礼品の人気商品に。	大切な人や取引先への贈り物（企業、団体、個人）	- 百貨店 - ギフトカタログ	焼菓子、和菓子、ゼリー、ケーキ、ジェラート等 
3	お土産 （菓子類） ※2025と同じテーマ	- 事業者の新規参入促進、商品層の拡充。 - 徳山駅などでの代表的な周南市のお土産として定着。 - 高速道路SAや空港にも展開し、地域外への認知拡大。	- 出張等で手土産を購入する企業、団体 - 県内外へ手土産を持っていく市民	- 道の駅 - 徳山駅 - サービスエリア - 観光地	